

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	名古屋観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	旅行学科	夜・通信	82 単位	6 単位	
	ホテル学科	夜・通信	108 単位	6 単位	
	鉄道交通学科	夜・通信	74 単位	6 単位	
	航空 ビジネス学科	夜・通信	120 単位	6 単位	
	ブライダルビジネス学科 ウエディングプランナーコース	夜・通信	120 単位	6 単位	
	ブライダルビジネス学科 ドレススタイリストコース	夜・通信	120 単位	6 単位	
(備考) ブルダルビジネス学科は2コース設置 (ウエディングプランナーコース) (ドレススタイリストコース)					
商業実務 専門課程	旅行学科	夜・通信	—	—	
	ホテル学科	夜・通信	—	—	
	交通 ビジネス学科	夜・通信	—	—	
	レジャー ビジネス学科	夜・通信	—	—	
	レクリエーション ビジネス学科	夜・通信	—	—	
(備考) 夜間部	上記5学科 募集停止中につき在籍学生はいません。				

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

全学生へ配布の「履修教科目案内」にて カリキュラム・シラバス・GPA・卒業規定を説明・発表 入学検討者・保護者等には（所定の資料請求手続き）にて配布

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	名古屋観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

総合事務局にて（所定の請求手続き）で公表

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社オリジネーター 取締役	H29. 11. 15 ～ R2. 11. 14	ハラスメント監督 女性の地位向上
非常勤	ノーリツ鋼機株式会社 取締役	H29. 11. 15 ～ R2. 11. 14	コンプライアンス 監督
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	名古屋観光専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【シラバス作成過程】</p> <p>① 年2回 学校長と学科長・担任による「カリキュラム会議」を実施 ② 上記 カリキュラム案を「教育課程編成委員会」による評価(改善・修正) ③ 次年度 実施のカリキュラムを作成 ④ カリキュラム実施にあたり業界のエキスパートから講師を募集・人選 ⑤ 授業担当講師と学科長・担任による学科会議(授業方針・目標の確認) ⑥ 担当講師より授業計画(シラバス)の提出 ⑦ 学科長が総合的に教育効果を判断し(改善・修正のフィードバック) ⑧ 授業担当講師より校長へ提出 最終決済を受ける。</p> <p>【シラバスの作成】</p> <p>上記作成過程にそって該当年度の前年より作成に着手、年末までに担当授業講師よりシラバスを回収→年明け2月には学科毎「履修科目案内」の印刷製本完了</p> <p>【シラバス公表時期】</p> <p>① 4月(1年次:入学オリエンテーション)全学生へ配布説明 ② 4月(2年次:進級オリエンテーション)全学生へ配布説明 ③ 5月 保護者会にて配布説明 ④ 6月 2020年よりホームページにて公開</p>	
授業計画書の公表方法	<p>全学生へ配布の「履修教科目案内」にて カリキュラムシラバス・GPA・卒業規定について説明・発表 入学検討者・保護者等 (所定の資料請求手続き)にて配布</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>授業担当者間の評価差異がおこらぬよう明確な(評価基準)(評価方法)提示カリキュラム・シラバスにて全学生へ詳細解説、学科長・校長による担当者評価判定が厳格かつ適正に行われているかチェックした後、履修認定行っている。</p> <p>【成績評価の基準】 (学期末試験 70/100) + (出席点 20/100) + (平常点 10/100) の合計を5段階評価(100~90 : S) (98~80 : A) (79~70 : B) (69~60 : C) を合格(59~0 : F) は不合格とし再試験を受ける事ができる。</p> <p>【成績評価の方法】 あらかじめ授業計画(シラバス)で教育到達目標を明確に定め、成績評価の方法(テスト)(レポート)(実技)(企画書)の他に(テスト+レポート)(実技+レポート)等 学生の長所を複数の観点で評価さらに学科長・担任が授業・学習成果を確認する事で、偏りの無い成績評価を行なう。 また学校長は授業オブザーバーとして適宜 授業参観を行い学生の学修意欲を把握 客観的な視点で教育環境の維持・改善・教師の教育指導にあたる。</p>	
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>【G P A制度の概要】 成績は(100~90 : S) (98~80 : A) (79~70 : B) (69~60 : C) までを合格(59~0 : F) は不合格とする5段階評価である。 成績評価は【S=4.0】【A=3.0】【B=2.0】【C=1.0】【F=0.0】としG P に変換します。 在学中の全期間における学修成果を示す指標として「累積G P A」を当該学期における学修成果を示す指標として「学期G P A」を算出する。</p> <p>本校のG P A制度は在校生のみならず学校関係者に広く公表する事で学生の自律的な学修の促進および学生に対する学修指導(学期G P Aによる学科別成績分布状況の把握)・就職指導(累積G P Aによるマッチング企業の選定)等 学生指導に活用する事を目的とする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>全学生へ配布の「履修教科目案内」にて カリキュラムシラバス・G P A・卒業規定について説明・発表 入学検討者・保護者等 (所定の資料請求手続き)にて配布</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【 ディプロマ・ポリシー 】

観光業界・ブライダル業界に関する深い専門知識と技術、さらに一般教養やマナー、語学をはじめとする社会人基礎力を体得し、好きや憧れの世界で社会に貢献できる者に卒業認定資格ならびに専門士を授与する。
また技術革新が急速に進む現代社会の中で人としての価値や品格を大切に世界の人の幸せに貢献できる人材を育成する。

【卒業の認定】

卒業認定は本校の卒業生としてふさわしい人格・品位を重んずると共に以下の条件を満たさなければならない。

- ① 卒業に必要な履修単位数 (120 単位以上)
- ② 出席日数 2 年間を通じ各科目 (2/3 以上)
- ③ 所定の学費を完納している事

【卒業認定会議】

- ④ 補講・再試験・特別授業 を経て卒業に必要な単位に満たない者は卒業認定会議にて審査 (課外活動・社会貢献・学外表彰 等を考慮) を行い 108 単位以上をもって卒業とする場合がある。
- ⑤ 卒業に必要な履修単位を取得していても、犯罪・法的違反等 卒業生にふさわしく無い行為が発覚した場合 卒業の前・後を問わず卒業認定を取り消す。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

全学生へ配布の「履修教科目案内」にて カリキュラム
シラバス・GPA・卒業規定について説明・発表
入学検討者・保護者等 (所定の資料請求手続き)にて配布

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	名古屋観光専門学校
設置者名	学校法人 A d a c h i 学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nag.ac.jp/evaluation/nit.html
収支計算書又は損益計算書	総合事務局にて（所定の申請手続き）で公表
財産目録	総合事務局にて（所定の申請手続き）で公表
事業報告書	総合事務局にて（所定の申請手続き）で公表
監事による監査報告（書）	総合事務局にて（所定の申請手続き）で公表

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	旅行学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	120 単位	74 単位	26 単位	16 単位	0 単位	4 単位
			120 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		87人	13人	3人	8人	11人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	鉄道交通学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	120 単位	84 単位	10 単位	26 単位	0 単位	
			120 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		104人	0人	3人	8人	11人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	航空ビジネス学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年		120	64 単位	54 単位	30 単位	0 単位	4 単位

	昼間	単位			120 単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人	108 人	5 人	3 人	8 人	11 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ホテル学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	120 単位	26 単位	68 単位	36 単位	0 単位	4 単位
		134 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		124 人	8 人	3 人	12 人	15 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス学科 ウェディングプランナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	120 単位	10 単位	24 単位	66 単位	0 単位	20 単位
		120 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人の内数		49 人	0 人	3 人	12 人	15 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス学科 ドレススタイリストコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	120 単位	16 単位	26 単位	72 単位	0 単位	6 単位
		120 単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人の内数		19 人	0 人	3 人	12 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>学校長と学科長・担任による「カリキュラム会議」で作成された案を職実「教育課程編成委員会」による評価（改善・修正）をうけカリキュラムを決定、担当講師を選任した後に（シラバス）（年間授業計画）（時間割）（教科書選定）を経て、総合的な教育効果を判断し、最終 校長決済をうける。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>【成績評価の基準】 （学期末試験 70/100）＋（出席点 20/100）＋（平常点 10/100）の合計を5段階評価（100～90：S）（98～80：A）（79～70：B）（69～60：C）まで合格（59～0：F）は不合格とし再試験を受ける事ができる。</p> <p>【成績評価の方法】 あらかじめ授業計画（シラバス）で教育到達目標を明確に定め、成績評価の方法（テスト）（レポート）（実技）（企画書）の他に（テスト＋レポート）（実技＋レポート）等 学生の長所を複数の観点で評価さらに学科長・担任が授業・学習成果を確認する事で、偏りの無い成績評価を行なう。 また学校長は授業オブザーバーとして適宜 授業参観を行い学生の学修意欲を把握 客観的な視点で教育環境の維持・改善・教師の教育指導にあたる。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>【卒業の認定基準】 卒業認定は本校の卒業生としてふさわしい人格・品位を重んずると伴に以下の条件を満たさなければならない。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 卒業に必要な履修単位数（120 単位以上） ② 出席日数 2 年間を通じ各科目（2/3 以上） ③ 所定の学費を完納している事 <p>【進級の認定基準】</p> <ol style="list-style-type: none"> ④ 進級に必要な履修単位数（60 単位以上） ⑤ 出席日数 1 年間を通じ各科目（2/3 以上） ⑥ 所定の学費を完納している事
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>学生が教育課程を効果的に遂行する為に、A 学科担任制による（履修アドバイス）（基礎学力個別補講）（メンター制グループ学習）B キャリアカウンセラーによる（就職支援）C 臨床心理士による（心の相談）（なんでも相談室）等の積極的学修支援を実施</p>

■ 旅行学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
H30年度 卒業生			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
37人 (100%)	0人 (0%)	37人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) JTB 近畿日本ツーリスト中部 ジェイアール東海ツアーズ 日本旅行 他			
(就職指導内容) キャリアアドバイザー+担任による個別指導、業界と連携した就職イベントの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 総合旅行業務取扱管理者 国内旅行業務取扱管理者 IATA デュプロマ TOEIC 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 (H30年度実績)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74人	5人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更・病気療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 心の相談室（メンタル・カウンセラーの常駐） 学科長+担任+保護者 三者連携による見守りサポート		

■ 鉄道交通学科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
H30年度 卒業生			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	0人 (0%)	38人 (97.4%)	1人 (2.6%)
(主な就職、業界等) JR東海 JR西日本 JR東日本 名古屋鉄道 近畿鉄道 東京メトロ 他			
(就職指導内容) キャリアアドバイザー+担任による個別指導、業界と連携した就職イベントの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 総合旅行業務取扱管理者 国内旅行業務取扱管理者 旅行地理検定 TOEIC 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 (H30 年度実績)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
103 人	7 人	6.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更・学業不振・病気療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 心の相談室 (メンタル・カウンセラーの常駐) 学科長+担任+保護者 三者連携による見守りサポート		

■ 航空ビジネス学科

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
H30 年度 卒業生			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36 人 (100%)	1 人 (2.8%)	34 人 (94.4%)	1 人 (2.8%)
(主な就職、業界等) JAL スカイ ANA エアポートサービス ANA 中部空港 羽田旅客サービス			
(就職指導内容) キャリアアドバイザー+担任による個別指導、業界と連携した就職イベントの実施			
(主な学修成果 (資格・検定等)) IATA デュプロマ TOEIC マナープロトコール検定 秘書技能検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 (H30 年度実績)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91 人	8 人	8.8%
(中途退学の主な理由) 経済的事情・進路変更・留学生帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) 心の相談室 (メンタル・カウンセラーの常駐) 学科長+担任+保護者 三者連携による見守りサポート		

■ ホテル学科

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
H30 年度 卒業生			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

54人 (100%)	1人 (1.9%)	51人 (94.4%)	2人 (3.7%)
(主な就職、業界等) 帝国ホテル 名古屋東急ホテル ヒルトン名古屋 京都ホテルオークラ 他			
(就職指導内容) キャリアアドバイザー+担任による個別指導、業界と連携した就職イベントの実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) ホテルビジネス実務検定 レストランサービス技能検定 秘書技能検定 TOEIC 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 (H30年度実績)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109人	2人	1.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更・就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) 心の相談室(メンタル・カウンセラーの常駐) 学科長+担任+保護者 三者連携による見守りサポート		

■ **ブライダルビジネス学科 ウエディングプランナーコース**

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
H30年度 卒業生			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
44人 (100%)	0人 (0%)	43人 (97.7%)	1人 (2.3%)
(主な就職、業界等) アニヴェルセル アルカンシエル 平安閣マリエール ワタナベウェディング 他			
(就職指導内容) キャリアアドバイザー+担任による個別指導、業界と連携した就職イベントの実施			
(主な学修成果(資格・検定等)) ABC検定 AWP検定 サービス接客検定 マナープロトコール検定 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 (H30年度実績)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72人	1人	1.4%

(中途退学の主な理由) 精神疾患
(中退防止・中退者支援のための取組) 心の相談室（メンタル・カウンセラーの常駐） 学科長＋担任＋保護者 三者連携による見守りサポート

■ **ブライダルビジネス学科 ドレススタイリストコース**

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
H30年度 卒業生			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ラビアンローゼ クレール テイクアンドギヴ・ニーズ プラス 一蔵 他			
(就職指導内容) キャリアアドバイザー＋担任による個別指導、業界と連携した就職イベントの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ABC検定 AWP検定 ドレスコーディネーター検定 山野流着装初・中傳 他			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 (H30年度実績)		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	2人	10%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 心の相談室（メンタル・カウンセラーの常駐） 学科長＋担任＋保護者 三者連携による見守りサポート		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
旅行	150,000 円	1 学年	1 学年	
鉄道交通		780,000 円	194,000 円	
航空 ビジネス		2 学年	2 学年	
ホテル		948,000 円	180,000 円	
フライト・ビジネス学科 ウェディングプランナーコース				
フライト・ビジネス学科 ドレススタイリストコース				
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nag.ac.jp/evaluation/nit.html
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 「学校点検・自己評価」をもとに企業・業界、卒業生や地域住民を含めた「学校関係者評価」を実施しホームページ上で公開を行うとともに、その結果を踏まえた学校運営の改善に取組み本校学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう学校運営の改善と充実を目指す事を基本方針とする。 【主な評価項目】 (学校評価ガイドライン 11 項目) (1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果 (5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流 を具体的に教育課程、進路指導など (学校が設定する評価 62 項目) に別け評価する。 【評価委員の構成】 (定数 8 名) ・設置学科の関連業界から委員を選出 (5 学科=業界人 5 名) ・卒業生 (名古屋観光専門学校 校友会 1 名) (税理士 1 名) (地域住民 1 名) ・その他 (卒業年度の保護者会にて学校関係者評価としてアンケートを集計し反映) 【評価結果の活用方法】 評価結果はホームページにて公表 あわせて (学校長・学務責任者・各学科長) により評価結果に対する改善項目の問題要因を検証 A (年度内改善点) B (次年度改善点) に別けて具体的 (改善施策・予算・期日・成果目標) を立案 実施後 (改善成果・今後の課題) を学校関係者評価委員会へフィードバックし評価を活用している。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
名古屋クレストンホテル	H29年10月1日～ R2年9月30日	ホテル業界 企業
ウエディングハウス マナリゾート	H29年10月1日～ R2年9月30日	ブライダル業界 企業
株式会社 JTB中部	H29年10月1日～ R2年9月30日	旅行業界 企業
スイスポートジャパン株式会社	H29年10月1日～ R2年9月30日	航空業界 企業
樽見鉄道株式会社	H29年10月1日～ R2年9月30日	鉄道業界 企業
税理士法人 横須賀・久保田	H29年10月1日～ R2年9月30日	税理士
名古屋観光専門学校 校友会	H29年10月1日～ R2年9月30日	卒業生
栄東町づくりの会	H29年10月1日～ R2年9月30日	地域住民
校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.nag.ac.jp/evaluation/nit.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
https://www.meican.net/